

# 平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の概要について

横須賀市教育委員会

平成 31 年 4 月 18 日（木）に小学校 6 年生・中学校 3 年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果がまとまりましたので、本市の児童生徒の学習・生活状況の概要についてお知らせします。

横須賀市では、本調査について、限られた教科および学年での実施であることやそれぞれの設問が学習指導要領で定められている学習目標・内容の全てを網羅するものではないことから、調査結果が学力すべてを表すものではなく、学校教育活動の一側面を示すものと考えています。しかし、一側面ではあるものの、本調査結果を児童生徒の学習状況や生活状況を把握するための資料の一つと捉え、今後の市の教育施策の充実や学校における児童生徒の個性や能力に応じた学習指導の改善のためにしっかりと役立てていきたいと考えています。

## I 調査の趣旨

### (1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### (2) 調査内容

#### ①教科に関する調査

\* 小学校は国語及び算数、中学校は国語、数学及び英語。

\* 調査問題では、次のア、イを一体的に問うこととする。

ア. 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

イ. 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

\* 出題形式については、国語及び算数・数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「話すこと」、「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

#### ②児童生徒に対する質問紙調査

\* 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### (3) その他

調査結果については、序列化や過度な競争につながらないようにするため、各学校の数値による結果については、市としても各学校としても公表はいたしません。

## Ⅱ 横須賀市小学校の結果

### 1. 教科別平均正答率結果

(%)	国 語	算 数
横須賀市	56	63
神奈川県	61	67
全 国	63.8	66.6

### 2. 各教科の概要

#### 【小学校 国語】

##### <おおむね理解しているとみられる内容>

- 目的や意図に応じ、調べたことを報告する文章を、図表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように工夫して書くこと（問題<sup>1</sup> 設問二）
  - ・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉えることは、おおむね良好である。
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと（問題<sup>2</sup> 設問一（1）、設問二）
  - ・目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことや、目的に応じて本や文章全体を概観して効果的に読むことは、おおむね良好である。

##### <課題があるとみられる内容>

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと（問題<sup>1</sup> 設問四（1））
  - ・学習した漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。
- 接続語が文と文の意味のつながりに果たす役割を理解し、使うこと（問題<sup>1</sup> 設問四（2））
  - ・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことに課題がある。

## 【小学校 算数】

### ＜おおむね理解しているとみられる内容＞

- 基本的な平面図形について理解すること（問題<sup>1</sup>（1））
  - ・ 台形についての理解については良好である。
- グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ること（問題<sup>2</sup>（1））
  - ・ 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることについては良好である。
- 日常生活の事象から、伴って変わる二つの数量を見いだすこと（問題<sup>4</sup>（1））
  - ・ 目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことについては良好である。

### ＜課題があるとみられる内容＞

- 図形の性質や構成要素に着目して、図形を構成すること（問題<sup>1</sup>（2））
  - ・ 図形の性質や構成要素に着目し、図形をずらしたり、回したり、裏返したりすることで、他の図形を構成することに課題がある。
- 複数の資料の特徴や傾向を関連付けることで見いだすことができる事柄から、数量の大きさを判断して、その判断の理由を説明すること（問題<sup>2</sup>（3））
  - ・ 二つの棒グラフから資料の特徴を読み取り、それらを関連付けて、判断の理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。
- 四則の混合した整数と小数の計算をすること（問題<sup>2</sup>（4））
  - ・ 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることに課題がある。
- 計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を表現すること（問題<sup>3</sup>（2））
  - ・ 示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を言葉を用いて記述することに課題がある。
- 場面の状況を数理的に捉え、数学的に表現・処理し、得られた結果から判断すること（問題<sup>4</sup>（3））
  - ・ 示された場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、所要時間の求め方と答えを言葉や数を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断することに課題がある。

### 3. 児童質問紙調査（小学校6年生）の結果概要（全58問）

#### （1）概要

〔肯定的な回答が90%以上の主な項目〕

- 朝食を毎日食べている
- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- 学校のきまりを守っている
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う
- 人の役に立つ人間になりたいと思う
- 国語の勉強は大切だと思う
- 算数の勉強は大切だと思う

〔課題と見られる主な項目〕 \* 全国平均と比較し、大きく差がある項目

- 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している 73.9〔全国 79.0〕
- 家で自分で計画を立てて勉強をしている（61.7〔全国 71.5〕）
- 読書が好きである（68.8〔全国 75.0〕）
- 今住んでいる地域の行事に参加している（61.8〔全国 68.0〕）
- 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある（47.6〔全国 54.5〕）
- 5年生までに受けた授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う（72.3〔全国 77.7〕）
- 国語の勉強が好きである（57.0〔全国 64.2〕）

#### （2）質問紙調査からみられる傾向と課題

##### 【学習】

「国語の勉強は大切だと思う」と「算数の勉強は大切だと思う」という項目でいずれも90%以上の肯定的な回答があり、児童が学習の必要性を抱いていることは明らかとなりました。一方で、「国語の勉強が好きである」や「自分で計画を立てて勉強をすること」の項目については、全国と比べて5ポイント以上差が開いていることから、やるべき課題として出された学習には取り組むことができますが、自分から進んで学習をすることへの意識が低い傾向にあると捉えられます。児童に各教科のよさや楽しさを感じさせる授業づくりを進めることを通じて、何のために学習をするのかといった学習する意義をしっかりと自覚させることが大切であると考えられます。

##### 【生活】

「今住んでいる地域の行事に参加している」という項目では、昨年度より肯定的な回答の割合は増えましたが、依然として全国と比べて5ポイント以上差が開いています。また、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」という項目でも、全国と比べて5ポイント以上差が開いた結果でした。子どもたち自身も地域の一員であるという意識は、今後の学習においても大切です。学校での学習と共に家庭においても地域の行事に参加したり、地域の方と積極的に関わったりする機会を設けていただくよう促すことも必要となります。

### Ⅲ 横須賀市中学校の結果

#### 1. 教科別平均正答率結果

(%)	国 語	数 学	英 語※
横須賀市	71	57	56
神奈川県	73	59	59
全 国	72.8	59.8	56.0

※英語については、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の結果

#### 2. 各教科の概要

##### 【中学校 国語】

###### <おおむね理解しているとみられる内容>

- 文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつこと  
(問題 $\boxed{1}$  設問三)
  - ・文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつことは、おおむね良好である。
- 書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討すること  
(問題 $\boxed{3}$  設問一)
  - ・書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討することはおおむね良好である。
- 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くこと (問題 $\boxed{3}$  設問二)
  - ・伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くことはおおむね良好である。

###### <課題があるとみられる内容>

- 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えること (問題 $\boxed{1}$  設問二)
  - ・文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることに課題がある。
- 伝統的な言語文化と国語の特質に関すること (問題 $\boxed{1}$  設問四)
  - ・封筒の書き方を理解して書くことに課題がある。

## 【中学校 数学】

### <おおむね理解しているとみられる内容>

- 平面図形の移動の意味や特徴を的確に捉えること（問題<sup>3</sup>）
  - ・ 図形の平行移動の意味の理解については良好である。
- 三角形の合同条件の理解に関すること（問題<sup>7</sup>（1））
  - ・ 三角形の合同条件の理解については良好である。

### <課題があるとみられる内容>

- 関数を用いて事象を捉え考察すること（問題<sup>4</sup>）
  - ・ 反比例の表から、2つの文字の関係を式で表すことに課題がある。
- 簡単な場合について、確率を求めること（問題<sup>5</sup>）
  - ・ 簡単な場合についての確率を求めることに課題がある。
- 不確定な事象を考察する場面において、表を活用して数学的に処理すること（問題<sup>8</sup>（1））
  - ・ 資料を整理した表から最頻値を読み取ることに課題がある。
- 不確定な事象を考察する際、数学的な結果に基づいて判断すること（問題<sup>8</sup>（3））
  - ・ 問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することに課題がある。

## 【中学校 英語】（「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」）

### <おおむね理解しているとみられる内容>

- 英語を聞いて情報の詳細を理解すること（問題<sup>1</sup>（1）、（2））
  - ・ 語と語の連結による音変化を捉えて情報を正確に聞き取ることや、教室英語を理解して情報を正確に聞き取ることはおおむね良好である。
- 話の概要を聞き取ること（問題<sup>2</sup>）
  - ・ まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することはおおむね良好である。
- 英語を読んで情報の詳細を理解すること（問題<sup>5</sup>（1））
  - ・ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることはおおむね良好である。

### <課題があるとみられる内容>

- 英語の基本的な語や文法事項等を理解して、正しく文を書くこと（問題<sup>9</sup>（1）②）
  - ・ 文の中で適切に接続詞を用いることに課題がみられる。

### 3. 生徒質問紙調査（中学校3年生）の結果概要（全69問）

#### （1）概要

〔肯定的な回答が90%以上の主な項目〕

- 学校の規則を守っている
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う
- 人の役に立つ人間になりたいと思う

〔全国と比較して肯定的回答が上回っている主な項目〕

- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる（67.8〔全国61.5〕）
- 授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた（59.4〔全国55.8〕）
- 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う（46.8〔全国41.3〕）

〔課題とみられる主な項目〕 \*全国平均と比較し、大きく差がある項目

- 家で自分で計画を立てて勉強をしている（43.6〔全国50.4〕）
- 読書が好きである（56.8〔全国68.0〕）
- 新聞を読んでいる（6.8〔全国12.7〕）
- 日本や住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う（54.3〔全国59.3〕）
- 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う（72.0〔全国76.2〕）

#### （2）質問紙調査からみられる傾向と課題

##### 【学習】

「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う」をはじめ、全般的に英語に関わる質問項目で肯定的な回答が高い状況となったことが、横須賀の生徒の特長であると捉えられます。

一方で、「自分で計画を立てて勉強している」という項目では、全国と比べて5ポイント以上差があり課題として捉えられます。これは「数学の授業で学習したことが役に立つと思う」という項目の肯定回答が低いことと関連して、学習に対しての意義を感じられていないといったことが一つの要因と捉えられます。各教科の学習において、自分たちが学習していることがどう活かされ、大切であるかといったことについても身に付けていくことが必要になります。

##### 【生活】

学校の規則を守ることやいじめについての意識については、肯定的な回答が高い状況でした。昨年度に引き続き、規範意識が高いことがわかり、横須賀の生徒の特長であると捉えられます。

一方で、小学校6年生と同様に、地域との関わりに関する質問項目について、肯定的な回答が全国と大きく差が見られました。地域社会の一員といった意識を高めるためにも、学校、家庭で地域と関わる機会を持つことが大切となります。

## IV 全国学力・学習状況調査の調査結果と今後の取組について

本年度から、全国学力・学習状況調査の問題が、昨年度までの「A問題」（基礎）と「B問題」（活用）を一体化したものに変更となったことから、昨年度との比較は難しい部分もありますが、本年度の結果を見ると、小学校の国語を除いては、全国平均正答率との差がマイナス5ポイント以内であり、ほぼ全国並みと捉えることができます。

また、本年度の中学校3年生が平成28年度に小学校6年生の時の調査と比較すると、各教科において伸びが見られ、各教科の力をしっかりとつけることができていると捉えられます。

一方で、今回の結果では、英語においては全国平均正答率と同等の結果となりましたが、国語および算数・数学においては小中学校ともに全国平均正答率を上回る教科はなく、課題があると捉えられ、引き続き課題解決を図っていく必要があると考えられます。

児童生徒質問紙に関する今回の調査結果からは、小学校と中学校で同じ傾向がみられる設問がいくつかありました。

横須賀市の子どもたちは、自主的な学習を計画的に取り組むということに課題があり、これは昨年度に引き続きの課題となっています。また、各教科の大切さについて問う設問では、肯定的な回答の割合が高い傾向にあるものの、「何のために学習をするのか」や「今行っている学習が、将来社会に出たときに役に立つ」といった、学習の意義を捉える意識を問う設問では、肯定的な回答の割合が低い結果となりました。自ら学習を進めていくためには、その学習の大切さをしっかりと感じることが重要です。そうした意識が高まることで、各学校から課される学習内容に取り組むだけでなく、授業等の内容をしっかりと理解するために、もう一度家庭学習において振り返るといったことや、自らの学習における課題を把握し、その課題を解決するために計画を立てて見通しを持った学習を行うといったことにつながると考えられます。

また、地域の行事に参加することや地域社会との関わりに関する設問においても、肯定的な回答の割合が低いことが、引き続き特徴として表れています。新学習指導要領では、子どもたちが地域社会の一員としての意識を高めることが「社会に開かれた教育課程」の理念からも大切だとされています。こうした意識は学校の授業はもちろん、地域との関わりを持つ機会が設定されるなど、家庭・地域との連携が不可欠です。

市内各学校においては、自校の調査結果を分析し、成果と課題を明らかにしています。全体的な傾向だけではなく、問題レベルまでの分析を行い、自校の児童生徒がどの教科のどの領域に課題があるのかといった詳細な分析を行い、指導改善につなげている実践も見られます。そうした取組によって、昨年度と同集団での経年変化を視点におくと、学力向上の取組の成果が大きく表れている学校もあります。

今後もこれまでの取組を継続しつつ、学力向上に向けて多角的な視点を持ち、学校と家庭、教育委員会がしっかりと連携をとり、本年度の学習状況の課題を解決するべく取組を推進していきます。